

BY APPOINTMENT TO
THE ROYAL DANISH COURT

CARL HANSEN & SØN

カール・ハンセン&サン 協カイベント情報

【銀座・和光】本店地階 アーツアンドカルチャー

「Danish modern design meets Asian crafts」

北欧家具をシノワズリカーペットや 古日本製の工芸作品と組み合わせ、空間を提案



2026年2月19日（木）から3月11日（水）の期間、株式会社 和光（本社：東京都中央区銀座・代表取締役社長：庭崎紀代子）は、南雲浩二郎氏をゲストキュレーターに迎え、本店地階 アーツアンドカルチャーにて企画展「Danish modern design meets Asian crafts」を開催します。

1908年にデンマークで創業したデンマーク王室御用達家具メーカー カール・ハンセン&サンは、本企画に協力し、この期間、当社の製品を会場にてご紹介いたします。

また、会期中の2月23日（月 祝）には、南雲浩二郎氏、土田貴宏氏によるトークショーも開催されます。

和光のプレスリリースより

「時の舞台」をコンセプトに持つアーツアンドカルチャーは、季節の移ろいや自然との付き合い方から生まれる日本の美意識、そして、長く継承されてきた伝統や技術、制作の追求に費やされた時や思いなど、未来へつなぐ価値を提供しています。

今回ご紹介するのは、半世紀以上にわたり、コア・クリントをはじめハンス J. ウェグナーなど巨匠の思想を受け継いで作り続けられている北欧家具。流行に左右されない普遍性と、日常生活において、家具という機能を持ちながら、空間を彩る彫刻的な美さえも備えた椅子は心地よい存在感を放ちます。そして、時代を超えて受け継がれるそのデザインは、これからの時代に不可欠でもあるサステナブルな価値を体現しています。

本展では、これらの椅子を中心に、同様の理念を受け継ぐサイドテーブルやチェスト等の家具もご紹介します。

さらに、遙か昔よりヨーロッパが憧れた、東洋の美意識から生まれた装飾様式である“シノワズリ”のスタイルを現代に蘇らせたカーペットを合わせることで、洗練されたモダンな生活空間を提案。古典的な中国のデザインと、それに多大な影響を受けたデンマークの家具が、今日、新たなスタイルとして再会します。

また、それらに加えて、アーツアンドカルチャーでもお馴染みの花籠や、近代日本の民藝同人作家による陶器、戦後の日本で盛んに造られたモダンな銅器、現代作家による木工や金工などのクラフト作品が調和します。時を超えた“質”と“価値”が響き合うこの空間で、過去から未来へと永く続いてゆく「美の物語」をご堪能ください。

期間中のイベント開催

日時：2026年 2月23日(月 祝)

ゲスト：ビームス ディレクターズ バンク クリエイティブディレクター 南雲浩二郎氏、
デザインジャーナリスト 土田貴宏氏

◎イベントの詳細については、以下インスタグラムにて後日お知らせいたします。

和光 本館地階 アーツアンドカルチャー https://www.instagram.com/artsandculture_wako_ginzatokyo/
カール・ハンセン&サン ジャパン <https://www.instagram.com/carlhansenandsonjapan/>

協力

カール・ハンセン&サン、MUNICARPETS、アニマ、斎藤正光氏、田中 潤氏、盛永省治氏

和光 本店地階 アーツアンドカルチャー

「アーツアンドカルチャー」として、2024年7月20日に生まれ変わった本店地階。このフロアは、単なるお買い物もの場ではなく、何百年と継承されてきた伝統や技術、自然との付き合い方から生まれる日本の美意識、創作の追求に費やされた時間など、お品物の背景にある物語を伝える拠点であり、文化と人々の交流の場です。

和光は、前身となる服部時計店の創業以来、職人のクラフトマンシップや最先端テクノロジーの粋を尽くした品々を紹介するとともに、定期的な美術展を開催して、そこに集う人々との関わり合いのなかで、さまざまな視点とインスピレーションを育んできました。和光に流れるアーツアンドカルチャーを尊ぶ精神を継承しながら、地階ならではの視点で、日本の工芸家や現代アーティストの作品を発信してまいります。

和光 ホームページ

<https://www.wako.co.jp/>

和光 インスタグラム

https://www.instagram.com/wako_ginza_tokyo/

アーツアンドカルチャー インスタグラム

https://www.instagram.com/artsandculture_wako_ginzatokyo/

参考資料 会期中展示予定のカール・ハンセン&サンの家具（一部）

※画像は、展示の仕様と異なります



KK96620 フォーボーチェア デザイナー：コア・クリント

1914年にデザインし、翌1915年に開館したフォーボー美術館の開館式典で一般に発表されました。

デンリッシュモダンの最初の名作として国際的な評価を受けるフォーボーチェア。この椅子をきっかけに、デンマークデザイン界は新しい時代に大きく一歩を踏み出しました。1950年代に大きく花開く、デンリッシュモダンの基盤を作ったデザインと言えます。

整然とした素材、形、構造の融合がフォーボーチェアの無駄のないフォルムの基盤。それまでになかった斬新な椅子ですが、古典デザインへの敬意とモダニズムが一つになった、クリントらしいデザインと言えます。優雅なフォルムに映えるクリントの稀有なバランスとプロポーション感覚。建築と家具デザインを分け隔てることなく、両方で一つと捉えるクリントの思想もこの椅子によく表れています。



OW149 コロニアルチェア デザイナー：オーレ・ヴァンシャー

OW149 コロニアルチェアは、オーレ・ヴァンシャーにより1959年に発表されました。伝統的なスタイルの優雅さと格式、さらに時代にふさわしいモダンデザインを目指したオーレ・ヴァンシャー。この絶妙なバランスを成し得たのがコロニアルチェア。今日もオーレ・ヴァンシャーの代表作として高い評価を受けています。

ミニマリスト、機能主義者と評価されるオーレ・ヴァンシャー、そのデザインには、洗練された細いラインが多く見られます。コロニアルチェアもその一つ。細く優雅なフレームですが、考え抜かれた構造により、優れた強度を創りだしています。洗練された曲線を描く特徴的なアーム。先端で真下にカーブさせる、ヴァンシャーらしい意匠となっています。丸棒状の前脚と後ろ脚。後ろ脚を若干カーブさせることによって、椅子に安定性を与え、優雅な傾斜のあるシルエットを創り上げています。

コロニアルチェアの発表から14年後、ヴァンシャーは、コロニアルソファ、コロニアル・コーヒーテーブルといったこの椅子に合う、一連のコロニアルシリーズを発表しています。また、コロニアルチェアには、さらに使用感を高めるフットレストツール OW149Fがあります。



CH22 ラウンジチェア デザイナー：ハンス J. ウェグナー

ウェグナーがカール・ハンセン&サンのために初めてデザインした、椅子コレクションの一つとして発表されました。その後、数十年の年月を経て、2016年に生産が再開された復刻モデル。美しいディテールに映える職人技巧が光ります。アームレストの形状、ペーパーコードを施した座面、そして印象的な成形合板製の背もたれ。随所にウェグナーデザインならではの特徴が見られる椅子となっています。そして、背に施された木製の楕円形の埋木は、ウェグナーならではの印象的な意匠です。また、優れた職人の技も各所に見ることができます。座面フレームのコーナーに施されたフィンガージョイント、前脚の接合に用いられた木製の楔など、フレームと別素材を用い美しいコントラストを創り出しています。

組立、仕上げ、そして座面のペーパーコード張り。今日生産機器こそ近代化されましたが、1950年にカール・ハンセン&サンでウェグナーが試作品を製作した当時と同じように今でも製作されています。

プレス関係のお問合せは下記までお願いいたします。

カール・ハンセン&サン ジャパン株式会社

Head of Marketing & Communications, Japan マーケティング・コミュニケーション部門責任者
阿部理歩 AYAHO ABE MAIL : ayab@carlhansen.jp

カール・ハンセン&サン ジャパン PR SUPPORT

株式会社ハウ MAIL : chs_pr@how-pr.co.jp TEL : 03-5414-6405

製品に関するメディア掲載時のクレジットは下記記載をお願いいたします。

カール・ハンセン&サン 東京本店/カール・ハンセン&サン大阪 <https://www.carlhansen.com>
もしくは

カール・ハンセン&サン 東京本店 TEL : 03-6455-5522